

## 第 48 回 日本ケーブルテレビ大賞 番組アワード ノミネート作品の発表

9/8(木)・9(金) 贈賞式、コンテンツスタジアムを 3 年ぶりにリアル開催

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟(理事長:渡辺克也/東京都中央区)では、全国のケーブルテレビが制作する優れた番組を称え、地域社会に根ざした映像情報文化の更なる発展を目指し、毎年、「日本ケーブルテレビ大賞 番組アワード」を開催しております。

番組アワードは、1975 年に「番組コンテスト」として始まり、第 9 回の 1983 年からは最優秀作品に郵政大臣賞(当時)が贈られるようになり、今年で 48 回を数えます。映像作品として優れた番組を評価する「コンペティション部門」、地域密着のケーブルテレビならではの番組づくりを評価する「コミュニティ部門」、応募者の裾野拡大や制作者の育成を目的とした「新人賞部門」の 3 つの部門から成ります。

今年の応募作品数は、コンペティション部門 69、コミュニティ部門 77、新人賞部門 42 の合計 188 に上りました。全国の会員事業者で構成した審査員 42 名で 6 月に行った予備審査で 36 作品に絞り込み、さらに外部有識者 8 名の審査員による本審査会を 8 月 1 日に行い、最終ノミネート 20 作品および各賞を選定しました。最終ノミネート作品は別紙をご参照ください。「グランプリ 総務大臣賞」を頂点とする各賞の発表ならびに表彰は、9/8(木)に開催する贈賞式のステージで行います。

贈賞式イベントは、9 月 8 日(木)・9 日(金)の 2 日間にわたり、ザ・グランドホール(東京・品川)に会場を移し、3 年ぶりにリアル開催する予定です。従前よりひと回り大きなホールで密を避けるなど、感染症対策のガイドラインに則って感染拡大防止に努めてまいります。初日は、贈賞式の直前にノミネート 20 作品について各作品の制作者が自ら紹介するほか、式典後にはグランプリ作品を全編上映します。2 日目は、受賞作品を採り上げてディスカッションする「コンテンツスタジアム」を開催します。応募や入賞を問わず、多くの制作者が参加、研修できる場として、ケーブルテレビの番組制作力向上に寄与する番組アワードを目指します。

なお、贈賞式イベント 2 日間のご来場については、申込み制といたします。8 月 22 日(月)に下記 URL の番組アワードホームページを更新し、専用フォームを設けて受付けを開始します。

### ■第 48 回 日本ケーブルテレビ大賞 番組アワード

日時 2022 年 9 月 8 日(木) 13:00 ~ 17:15 受付開始 12:30  
9 日(金) 10:00 ~ 16:45

会場 ザ・グランドホール (東京都港区港南 2-16-4 品川グランドセントラルタワー 3F)  
<https://tg-hall.com/access/>

<番組アワードホームページ URL>

<https://www.catv-jcta.jp/p/award/2022/index.html> (連盟HPよりアクセス)

～本件に関するお問合せは、下記までお願いいたします～

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 <<http://www.catv-jcta.jp>>

地域・コンテンツビジネス部 担当:久保田・中田 TEL : 03-3566-8200

E-mail : [jcta\\_contents-lab@catv-jcta.jp](mailto:jcta_contents-lab@catv-jcta.jp)

## ■取材のお申込みについて

報道関係の皆さまにおかれては、ぜひ取材・広報等、幅広いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取材お申し込みの方は、レセプション(9/8 17:45～)に会費無料でご案内いたします。

メール添付、または FAX にて下記の項目を記入のうえ、お申し込みください。

### <確認項目>

- ・貴社名
- ・部署
- ・お名前
- ・TEL
- ・E-mail
- ・贈賞式のご出欠
- ・レセプションのご出欠
- ・掲載(放送)予定

※2 日目イベントの取材については、直接ご来場いただき、取材の旨を受付でお申し出ください。

～本件に関するお問合せ、取材お申込みは、下記までお願いいたします～

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 <<http://www.catv-jcta.jp>>

地域・コンテンツビジネス部 担当:久保田・中田 TEL : 03-3566-8200

FAX : 03-3566-8201

E-mail : [jcta\\_contents-lab@catv-jcta.jp](mailto:jcta_contents-lab@catv-jcta.jp)

## 第48回 日本ケーブルテレビ大賞 番組アワード ノミネート作品

### <コンペティション部門>

	タイトル	制作局	都道府県	番組概要
1	栄冠はおじさんに輝く ～函館大有斗24年ぶりの甲子園～	株式会社ニューメディア 函館センター	北海道	甲子園出場 春夏通算13回を誇る、北海道の古豪 函大有斗高校硬式野球部。そのOBチーム結成から1年。おじさんたちの甲子園と呼ばれる「マスターズ甲子園2021」の北海道予選を勝ち抜き、見事に優勝。甲子園への夢を再び！ 世代は違えど同じ校舎で学び、同じグラウンドで甲子園を目指した「おじさんたち」の奮闘の記録。
2	戦場の秋田美人 ～戦地に赴いた芸者部隊と忘れられた「恤兵（じゅっぺい）」～	株式会社秋田ケーブルテレビ	秋田県	「秋田美人」という言葉はかつて隆盛を極めた「川反芸者」が由来とされる。長期化した日中戦争で川反芸者の一行 8人が 慰問に大遠征した。その名も「くれない部隊」。慰問団の活躍ぶりを当時の秋田魁新報は「美人慰問団で評判」と報じる。戦時動員には、恤兵（じゅっぺい）という、ヒュアな国民の心を揺さぶる、「同調圧力」を利用した戦時動員システムがあったのだ。。。
3	震災特番2022 食で紡ぐ宮城の明日	株式会社ジェイコム埼玉・東日本 仙台局	宮城県	東日本大震災が起きた3月11日に、食で復興する県内各地の人・農業家の取り組みを紹介することで「食の復興」を応援する。仙台で被災した岩田華怜さん（俳優・元AKB48）と仙台出身のシンガーソングライター伊東洋平さんが、食の復興に取り組み人や取り組みを体験・交流を通して紹介。震災からの歩みや現状、未来への意気込みを伝えた。
4	天空への一本道	株式会社ケーブルテレビ富山	富山県	毎年4月に姿を見せる立山黒部アルペンルートの「雪の大谷」。高さ20メートルに迫る巨大な雪壁は、誰がどのようにして造るのか。2021年に立山黒部アルペンルート開通から50年を迎えることから、特別許可の下で撮影が許された貴重な映像。2ヵ月をかけて除雪作業に挑む13人の除雪隊の姿を追った。大型重機が天空への一本道を切り拓く様子、見たことのない美しい厳冬の立山の風景を紹介する。
5	どんときたよ2022 世界中の岐阜県人とオンライン新年会	シーシーエヌ株式会社	岐阜県	年末年始特別番組「どんときたよ」の放送は14回目。今年のテーマは「世界中の岐阜県人とオンライン新年会」。視聴者自ら各地からの生中継をしたり、世界中の岐阜県人と「zoom」で繋ぎ、番組はYouTubeでもライブ配信。世界中の住む岐阜県人と新年会をしている気分を盛り上げた。制作の裏側を除くことができるオンライン観覧席の設置や岐阜新聞から新年の挨拶を行う事前企画も展開した。
6	FOR GOOD BAIT ～自分らしい人生の終い方～	株式会社キャッチネットワーク	愛知県	ジャズ喫茶「グッドバイト」のマスター、神谷年幸さんの最期まで店に立ち続ける姿にカメラを向けた。そこで垣間見たのは、まるでジャズのように自由に遊び心のあるマスターの生き方と、全国各地から訪れるジャズファンたちの思い。自分らしい人生の過ごし方、そして終い方とは何か？ ジャズを愛し、ジャズレコードに囲まれ続け、その人生に幕をおろした神谷さんの「命の燃焼を描いたものがたり」。
7	芭蕉のめざした俳諧の世界	伊賀上野ケーブルテレビ株式会社	三重県	松尾芭蕉の文芸は「俳諧」と呼ばれていた。5・7・5の句、7・7の句・・・と仲間と交互に詠んでいくもので、現代では「連句」と呼ばれる。連句の面白さは、詠む人によって思い描く風景、世界観が次々と変わり、皆で一つの作品を作り上げていくことである。俳諧をわかりやすく紹介し、句の世界観を映像で再現する。そして伊賀で生まれた芭蕉がどうして「俳聖」と呼ばれるようになったかを紐解く。
8	不思議なカエルに魅せられて 1cmの登山者たち	九州テレ・コミュニケーションズ株式会社 ケーブルステーション福岡	福岡県	九州一登山者が多いとされる、太宰府市の人気スポット・宝満山。山頂を目指すのは人間だけでなく、体長わずか1cmの登山者たち。その正体は、カエルだ。5月下旬、手足が生えたとばかりの数万匹の子ガエルたちが、ふもとの池から一斉にスタートする。人間のサイズにすれば、エベレストの10倍もの大きさの宝満山に挑むカエルたち。山仲間のように見守る人たちとカエルたちの、ひと夏の冒険。
9	島の未来を守るために 海のサムライの挑戦	株式会社び〜ぶる	佐賀県	佐賀県唐津市の玄界灘に浮かぶ松島。人口減少、高齢化社会にあつてこの島は若者の比率が高い。しかし、漁獲量が減少して島の産業が衰退する中、若者たちは稼げる島を目指し奮闘している。耕作放棄地と山道の再生、海底湧水による塩づくり、無農薬の島での養蜂、それにグランピング施設の建設など、島の新たな産業を創出し、チャンジする姿を追った。

### <コミュニティ部門>

	タイトル	制作局	都道府県	番組概要
10	小倉美咲を捜しています ～山梨女兒不明 家族の記録～	株式会社広域高速ネット二九六	千葉県	19年9月、当時小学1年生の小倉美咲さん(千葉県在住)が山梨県のキャンプ場で行方不明に。大規模な捜索が打ち切られた後も家族は何度も現場に通い、捜索を呼び掛けるチラシを配り続けた。更に家族を苦しめたのは誹謗中傷。母親のとも子さんを犯人扱いする書き込みや家族を苦しめる内容が数千件も。それでも母親のとも子さんは「美咲を見つけるまでは諦めない」という強い覚悟で探し続けた。
11	新春「相本芳彦VS雷鳥 高岡・射水ヤマヤマ対決」	高岡ケーブルネットワーク株式会社 射水ケーブルネットワーク株式会社 (共同制作)	富山県	高岡市と射水市に伝わる曳山祭の知識を競うクイズエンターテインメント。毎年の祭り中継でその舞台裏まで取材してきたスタッフが構成を練り上げた。山車の数・構造などの簡単な三択クイズから始まり、掛け声や囃子など音にかかわるクイズ、キリスト教との関連を問う歴史クイズ、映像早押しクイズなど、いずれもディープな祭り愛好家にも飽きられないよう、映像や写真やうちくをたっぷり仕込んだ。
12	発見！我が家のお宝映像 ～よみがえる地域の記録～	株式会社Goolight	長野県	再生できないかと局に一本の8mmフィルムが持ち込まれたのが始まり。「見たいけれど、再生できる環境がないことから見られない映像」を持って困っている地域の人がいるのでは」と話が挙がり調査を開始。長年、地元を撮影しているカメラマンの方にも協力していただき、地域に眠る映像を発掘。地元に残る貴重な映像から当時の文化や人々の営みから地元の人でも知らない歴史に触れる機会となった。
13	KCTニュース特集選	株式会社倉敷ケーブルテレビ	岡山県	「KCTニュース」は倉敷ケーブルテレビの基幹番組で、もともと地域の住民に視聴されている番組。これらを通じて取材制作スキルの向上や、地域との人間関係づくり、ネタの発掘や企画番組化などの土台を成している。スタッフ全16名のうち、毎日4～6名前後がニュース業務に携わり、人的にも時間的にも機材設備的にも多くのリソースを割いて制作している。反響の多かった特集の8本をまとめた。
14	廿日市がけん玉発祥 100周年の地って知ってる？	株式会社ちゅびCOM	広島県	けん玉発祥100周年の街、廿日市市を周知する番組。広島出身の元リリーガーでサンフレッチ広島のアンプサダーを務める森崎浩二さんがけん玉の技を習得しながら、けん玉発祥のまち、廿日市をPRする。けん玉プレーヤー、けん玉製造者、けん玉受け発祥の街の商店街と視点を交えて全3話で構成している。
15	香南っ子映像倶楽部	一般社団法人香南ケーブルテレビ	高知県	香南ケーブルテレビと香南市中央公民館が共同でリポーターやナレーターなどをやってみたくい小学生を募集し、2018年に発足したサークル「香南っ子映像倶楽部」。今回の番組では、2つの企画に小学生が挑戦。コロナ感染者への差別を辞めようというシトラスリボン運動を広げる企画。もう1つは「ドライブスルーで夏祭り」。自分たちで催し物を考えてボランティアに挑戦する。
16	地元発見伝 忘れてないでカクンちゃん	株式会社ケーブルワン	佐賀県	権一丁という奇抜な姿ながら、手作りの一本三味線から奏でる即興の演奏と唄で人々を魅了していたカクンちゃん。当時、怖がりながらもカクンちゃんの後ろをついて行ったいたずらしていた「子ども達」も、70年たった今ではカクンちゃんのことを話すと笑顔になる。それぞれの思い出の中のカクンちゃんを振り返る。

### <新人賞部門>

	タイトル	制作局	都道府県	番組概要
17	いのちを紡ぐ ～カイコと過ごした小学生の記録～	株式会社インフォメーション・ネットワーク・コミュニティ	長野県	長野市西部の山あいにある七二会小学校では、毎年、3年生と4年生がカイコを飼育している。明治から昭和にかけて、養蚕が地域の産業を支えていたが、今はもう絶えてしまった。カイコの飼育は、養蚕の歴史を学ぼうと、学習の一環として2018年度から始めた取り組みだ。2020年度の3年生は3人。カイコ学習を終える2年間にわたり、3人の学習と成長の姿を追った。
18	須坂のタカラビト ～文化を守り、繋ぐ人～	株式会社Goolight	長野県	明治から大正時代にかけて、製糸業で隆盛を誇った長野県須坂市では、その豊かな歴史から数々の文化が発展し、今もその面影が残っている。しかし、時代とともに変わりゆく生活の中で、古からの文化への関心は薄れつつある。先人から脈々と受け継がれてきた文化のバトンを後世につなげよう。情熱を傾ける個人・団体の活動や想いをオムニバス形式で映像作品にした。
19	ICCスペシャル 「尾州×かわいい」	株式会社アイ・シー・シー	愛知県	愛知県一宮市在住のロリタファッション愛好家のショコラさんが「尾州生地」の魅力に着目し、「尾州ロリタ」と称して、尾州生地でロリタ服を制作。ショコラさんの祖母が繊維工場で働いていたこともあり、「尾州の職人を守りたい」「尾州の魅力若い世代にも知ってほしい」との思いがある。彼女の活動に密着し、「尾州ロリタ」に込めた思いと尾州の活路を番組にまとめた。
20	南海トラフ地震 ～知ることは命を守ること～	BTV株式会社	宮城県	東日本大震災から11年経った3月11日に放送。将来、南海トラフ地震の発生が予測されている。「南海トラフ地震とはどのような地震なのか」「どのような津波が来るのか」を、発表されている資料や専門家の知見、東日本大震災当時の映像から理解を深めていく。また、エリア内の海沿いの地域で取材を行い、行政の防災対策や市民が日常の中で行うべき防災対策の重要性を調査した。

# 「第48回 日本ケーブルテレビ大賞 番組アワード」贈賞式 概要

サブタイトル：コンテンツフェスティバル

応募・受賞の有無に関わらず、ケーブルテレビ関係者が集い、コンテンツを語り、研鑽する場を創出する

日程：2022年9月8日（木）・9日（金）

会場：ザ・グランドホール JR品川駅 港南口 徒歩5分  
<http://tg-hall.com/>

## イベントスケジュール

### 1日目（9/8） 贈賞式

- 13:00～13:45 ノミネート作品ダイジェスト上映・番組紹介
  - 14:00～16:00 第48回 日本ケーブルテレビ大賞 贈賞式
  - 16:15～17:15 グランプリ 総務大臣賞作品上映会
  - 17:45～19:00 レセプション 会費制：5,000円（税込）ホワイエで開催
- ※レセプションは、コロナ禍の状況をみて中止とする場合がございます。



↑ ザ・グランドホール内観

### 2日目（9/9） コンテンツ スタジアム

- 10:00～11:30 Round① 「けーぶるにつぼん／壮観劇場」を語ろう 90分  
日笠P・制作スタッフ・制作局担当者を中心に制作談議
- 11:45～12:45 Round② 受賞作品を語ろう 60分  
グランプリ、準グランプリ、新人賞部門受賞作品
- 13:30～15:00 Round③ 受賞作品を語ろう 90分  
コンペティション部門受賞作品
- 15:15～16:45 Round④ 受賞作品を語ろう 90分  
コミュニティ部門受賞作品

↓ リアル開催した2019年（第45回）

